

## ITU Kaleidoscope Conference2013 について

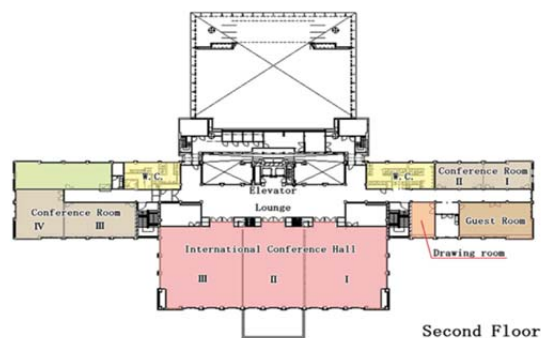
Kaleidoscope2013 運営委員会委員  
TTC 前田洋一

1. 会合名称：ITU Kaleidoscope Conference 2013
2. 開催場所：京都大学百周年時計台記念館（2階国際会議ホール）
3. 主催者：国際電気通信連合（ITU）
4. 開催期間：2013年4月22日（月）～25日（木）  
（25日はITUと電子情報通信学会が「標準化と教育」に関するサイドイベント実施）
5. 開催背景と意義

大学や研究機関等において ICT 分野の最先端技術の研究開発が行われる中、ITU においても最先端の ICT 技術に迅速に対応していくため、従来のメンバーシップ（国、セクターメンバー、アソシエート）に加えて、新たにアカデミアのメンバーシップを設けて、アカデミアとの連携強化を進めているところです。日本からは現在、早稲田大学、東京大学がアカデミアメンバーとして ITU-T の活動に参加しています。

ITU では、革新技术の研究に深く関わるアカデミアとの連携を強化し、長期的な将来志向の標準化課題を発掘することを狙い、ITU 活動へのアカデミアの参加を促進する目的で、2008 年から毎年一回、ICT 分野に関する論文を広く募集し優れた論文を表彰する Kaleidoscope Conference を世界各地で開催しています。この度、2013 年 4 月に、第 5 回 Kaleidoscope Conference を日本の京都大学で開催することとなりました。

世界各国の大学や研究機関の ITU 活動への参加が拡大する中、本会合を日本に招致し、我が国のアカデミアとの連携・交流を深めるとともに、将来社会で活躍する学生や若手研究者等に標準化をはじめとする ITU 活動への知見を深めて頂くことは、標準化活動等への最先端技術の取り込みのほか、次世代を担う人材育成の観点からも有意義と考えられます。また、革新技术の研究成果を踏まえて、長期的な視点から標準化の将来課題を発掘する例として、現在 ITU-T の SG13 で検討されている Future Networks に関する研究課題は、第 1 回 Kaleidoscope 2008 の日本からの提案に基いたもので、Focus Group on Future Networks が設立されて検討が行われた結果であり、日本の大学、研究機関、企業からの寄与による成果とすることができます。



カレイドスコープ会議・会場（京都大学 百周年時計台記念館）

## 6. 日本開催支援委員会と国内ホスト委員会

- ・本会合の日本開催支援を目的として、時限的に「ITU Kaleidoscope Conference 日本開催支援委員会」（事務局：日本 ITU 協会）を設立し運営します。現時点で、NICT、NTT、NEC、沖電気、KDDI、日立、富士通、三菱電機から財政支援をいただけることとなっております。
- ・本会合に賛同頂ける企業・団体等においては、ITU の Kaleidoscope Conference のポスターやチラシ、Web サイト等に、協賛企業・団体のロゴが掲載され、ITU の様々な会合等を通じて全世界に広く配布され、大きな周知広報・宣伝効果が見込まれます。
- ・「国内ホスト委員会」委員長：京都大学教授 高橋達郎  
委員：東京大学教授 浅見徹、大谷大学教授 池田佳和、早稲田大学教授 松本充司、  
TTC 専務理事 前田洋一、総務省通信規格課標準化推進官 上原哲太郎、  
NICT 標準化推進室長 古賀康之

## 7. 会合概要

- 1) 今会合テーマ：Building Sustainable Communities  
(<http://www.itu.int/ITU-T/uni/kaleidoscope/2013/index.html>)
- 2) 論文募集状況：35ヶ国から99件の論文投稿（日本から17件）があり、今後、査読評価が行われ、約30%の論文が4月の本会合での発表が行われ、最優秀論文が決定される。
- 3) 会合プログラム構成案（12月末を目処に、招待講演、サイドイベントなどの企画中）  
総合議長：松本紘 京都大学総長  
基調講演1：長尾真 前国立国会図書館長
- 4) サイドイベント「標準化と教育」ワークショップ  
4月25日に、電子情報通信学会（規格調査会）とITUが共催し、「標準化と教育」に関するワークショップと第二回TSB局長アドホック会合を開催予定。
- 5) 今後の主なスケジュール
  - ・論文採録発表：2012年11月12日（論文投稿締切：9月24日）
  - ・最終論文登録：2012年12月3日
  - ・本会合プログラム構成：2012年12月末
  - ・会合参加申し込み受付、VISA処理など：2013年1月開始
  - ・本会合開催：2013年4月22～25日

(参考) ITU Kaleidoscope Conference これまでの開催実績

2008年5月12-13日	スイス（ジュネーブ）
2009年8月31日-9月1日	アルゼンチン（マルデルプラタ）
2010年12月13-15日	インド（プネ）
2011年12月12-14日	南アフリカ（ケープタウン）

以 上